

# 学校だより

## おさなさととの風

発行者：岩倉市立曾野小学校 校長 子安弘恭 平成22年7月20日 No. 1

### 1学期をふりかえって

平成22年度の曾野小学校は、全校児童687名、教職員44名でスタートしました。今学期を振り返ってみますと、4月6日の入学式から今日まで様々な活動がありました。「町探検」、「学校のまわりの探検」、「田植え」、「読みきかせ」等々多くの活動に保護者の皆様や地域の方々のご協力を得ることができました。おかげで、子どもたちは安心して活動に取り組み、学びを深めることができました。心より感謝しています。



100人の新入生を迎えて

今学期は、野外活動も修学旅行も天候に恵まれ、無事楽しく終えることができました。子どもたちも、楽しい思い出作りのために皆精一杯力を発揮していました。

さて、これから長い夏休みに入ります。暑さが厳しい中ですが、子どもたちが家庭や地域の一員としての自覚を高めるとともに、ふだんできないことに挑戦し、有意義な日々を送ってくれることを期待しています。

### 楽しくもりあがりました

#### ～春の大型紙芝居～

「おはなし会ラビット」の皆様による恒例の大型紙芝居が6月11日（金）長放課を利用して行われました。今回の出し物は「ブレーメンの音楽隊」です。着ぐるみ姿で子供たちを会場へと誘ったり、効果音やBGMで雰囲気作りをしたり、声優として表情豊かに演技したりと大勢のスタッフの方々が力を合わせて、子どもたちを大いに楽しませていただきました。1年生には手作り手品グッズをプレゼントしていただきました。ラビットの皆さん本当にありがとうございました。次回12月1日の会が楽しみです。



紙芝居を終えたラビットの皆さん

### 本物のオーケストラにふれて ～音楽鑑賞会～

6月12日（土）セントラル愛知交響楽団をお招きして音楽鑑賞会を開催しました。オーケストラを構成する各楽器の特長を生かした音色の紹介の他、低学年の部では、音楽物語「トトロ」が、高学年の部では、指揮者体験コーナーが設けられそれぞれ楽しい時間を過ごすことができました。また、オーケストラの演奏に合わせた全員合唱「夢をかなえてドラえもん」（低学年）「ラバースコンチェルト」（高学年）では、子どもたちの元気な歌声とオーケストラのすばらしい演奏が体育館中に響き渡り、音楽の楽しさを全員で味わうことができました。



オーケストラを指揮する6年生

### 手植えの大変さ、お米の大切さを実感

#### ～田植え(5年生)～

梅雨も間近の6月8日（火）、5年生は田植えを行いました。指導して下さったのは学区に在住の加藤さんと服部さん。服部さんには、前日に学校で稲作についての授業もしていただきました。田植え当日、子どもたちは、等間隔に目印が付けられた水糸に沿って一株ずつ慎重に植えていきました。田んぼに入るのが初体験という子も多く、足取りがおぼつかない中、各クラス四条ずつ田植えを済ませました。その後、各クラスの代表者による田植機の運転体験も行われました。まっすぐに植えることがどれほど難しいか、皆実感したようです。秋には、うるち米ともち米が収穫できる予定です。日々成長していく稲田の様子を、しっかり観察しながら収穫の秋を迎えられるといいですね。子どもたちはこの貴重な体験によって、これまで以上に感謝の気持ちを抱いてご飯を食べてくれるようになると思います。

### 話し手と聞き手で深める学び合い

#### ～授業参観～

今学期は4月と6月の2回、授業参観を行いました。たくさんの保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。本校は、2年間の研究成果を踏まえて、学び合いを大切にしたい授業づくりを進めています。ペアトーク、グループトークといった少人数で話し合える場を設定して、自分の考えが伝わる喜びを全員に味わわせたいと考えています。伝え合いの場では、聞く側の態度も大切です。うなずいたり、あいづちをうったりしてくれる仲間が欠かせません。互いの理解を深めるために、伝え合うことは有効な手段です。また、お互いに考えを述べ合うことで、さらに進んだ考えを生み出すことも期待できます。学び合いの輪を全校に広げ、曾野小で学ぶことに喜びを感じてもらえるようになれば、これに勝る幸せはありません。

学校だより「おさなさととの風」の名前は、学校の東を流れている五条川が昔「幼川（おさながわ）」と呼ばれていたところから付けました。今年度も学期に1回、発行していきたいと考えています。